

◇内 田 清 文 君

○議長（澁谷俊二君） 次に、4番、内田清文君の一般質問を許可いたします。内田清文君、登壇願います。

（4番 内田清文君 登壇）

○4番（内田清文君） 通告に基づき一般質問を行います。

立候補時の考えをお伺いしますが、美郷町長に立候補した際には選挙で当選しましたが、その当時どのような主張でmanifestoを掲げて立候補したのか伺います。

さらに、今年11月に任期満了に伴い町長選挙がありますが、出馬する予定はあるか伺います。もしこのまま出馬するとすれば、どのような考えのもと出馬するのか伺います。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。

平成16年11月に行われました町長選挙においては、私は7つの選挙公約を掲げております。

地域融和、町の勢い、町勢活性化、人づくり、農業商業振興、福祉充実、教育充実、生活基盤充実の7項目です。それぞれに具体的な取組を掲げておりますが、政策の目標数値や実施期限、財源などを具体化したmanifestoは出しておりません。

当選させていただいた後、私にとって初めての町議会である平成16年第2回定例会において、選挙公約を核心に据えて負託をいただいた4年間における自分の考えや信念を述べる所信表明をしておりますので、抜粋して要旨をお伝えいたします。

行政運営に対する信念は「公平」「誠実」「展望」であり、常に意識していくキーワードは「融和」と「前進」であると述べております。その上で町内の融和を目指して交流しやすい行事等を開催していくこと、町の勢いの町勢活性化を目指して地域交流や秋田国体に伴う人的交流を大切にすること、人づくりとして芸術文化を初めとした各種催しを開催すること、教育環境の充実として学校間交流や研修等を推進すること、住みよさに向けた福祉の充実として子育て支援策や高齢者の生きがい支援策を講ずること、農業振興として美郷ブランドの確立や生産体制に特徴を持たせること、商工業振興として需要拡大につながる支援や異業種間のネットワーク構築など特色をつくること、生活基盤整備として安全安心につながる施設整備や交通網整備に意を払うこと、そして町民の視点を大切にしながら行政の説明責任を果たすため、できる限り町民に目的などをお伝えしていくと述べております。

この所信表明を踏まえ、毎年度3月定例議会において施政方針を表明し、具体的な施策展開を

してきております。

次に、私の今後についてのお尋ねですが、現在私は新型コロナウイルスへの対応に全力を挙げ取り組んでおります。日々の状況の変化に細心の注意を払うとともに状況に合わせた適時適切な対応を常に考え、実践に注力しているところです。今般の新型コロナウイルスはこうした姿勢と対応が求められる厄介で影響力の大きい存在であると私は認識しております。そのため、今後も引き続き新型コロナウイルスへの対応を優先しながら、自らの出处進退については、しかるべき時期に明確にしてまいりたいと存じます。

なお、現時点での意識では、次の町長選挙を前向きに捉えているところです。以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、4番、内田清文君の一般質問を終わります。